

令和2年度鹿児島県がん診療連携協議会議事要旨

1. 日 時：令和3年3月17日（水）16：00～17：10

2. 会議形式 オンライン（Zoom）会議

3. 開会挨拶

上野センター長より、開会に先立ち挨拶があり、続いて鹿児島県くらし保健福祉部健康増進課の上園技術補佐より挨拶があった。

4. 議題等

(1) 令和2年度都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の報告

上野センター長より

①厚生労働省からの連絡・伝達事項について

・両立支援施策の現状について【資料1-1】に基づき説明があった。

⑤がん診療連携拠点病院等の指定要件の見直しに関する意見交換について【資料1-6】に基づき説明があった。

⑥新型コロナウイルス感染症流行下での都道府県における活動について

・京都府からの「京大病院における新型コロナウイルス感染症拡大下でのがん診療連携の取り組み」について【資料1-8】に基づき説明があった。

(2) 各部門からの報告

○「がん相談・連携部門」

川窪看護師より、全国情報提供・相談支援部会について【資料1-4】に基づき報告があった。また、鹿児島県がん相談・連携部門会について【資料2-1】に基づき報告があった。上野委員長より、全国ではPDCAを使い向上するように指導されており、今年度はコロナ禍の中、Webを使った研修にしたことで参加者が増えている現状である。各病院においては積極的にがん相談部門等の研修に参加願いたいとの発言があった。

○「がん緩和医療部門」

前川医師より、全国緩和ケア部会について【資料1-5】に基づき報告があった。また、鹿児島県緩和ケア部門会について【資料2-2】に基づき報告があった。上野委員長より、鹿児島県の取り組みは2本柱で「相互訪問によるピアレビュー」と「地域連携」となっていること、今後は離島の訪問等が発生する中、旅費等の経費が必要であり、今日は県の方も出席されているので、予算化に尽力願いたいとの発言があった。

○「がん登録部門」

永吉診療情報管理士より、【資料2-3】に基づきがん登録部会の報告があっ

た。上野委員長より、拠点病院の承認を外される要因の1つとして、がん登録の中級者が不足する状況があるので、各病院において、がん登録の中級者研修を受ける方を増やしてほしいとの発言があった。

○「がん診療企画部門」

鈴木先生より、【資料2-4】に基づき報告があった。その中で、がんゲノムにおけるC-CATの運用がインターネット回線から安全性の高いSINET5回線を使用したシステムに今年度変更して運用しているとの発言があった。

(3) その他

○「鹿児島県がん・生殖医療ネットワーク」

城田ネットワーク副代表より、【資料3-1】に基づき説明があった。小林ネットワーク代表より、ネットワークに参加されていない病院については、是非参加願いたいこと、また、県に対して来年度予算で予算化に尽力願いたいとの発言があった。

○「NPO法人がんサポートかごしま」

三好理事長より、【資料3-2】に基づき説明があった。その中で2点の要望が出され、1点目はポータルサイトを作ってほしいこと、2点目は各病院にWi-Fi環境を整備してほしいとの意見であった。1点目については、各県の状況を踏まえて、県が中心として作成しているので、是非作成してほしいとの発言があった。2点目については、各病院の費用面や状況を整える面とかがあるとは認識しているが、是非努力して欲しいとの意見が出された。

5. その他（意見・質問等）

県立大島病院長の石神院長より、相互訪問によりピアレビューについてWeb開催を検討していないのかと質問があり、いまきいれ総合病院の大瀬医師より今後の検討課題とするとの発言があった。

6. 閉会挨拶

鈴木副センター長から、閉会の挨拶があった。